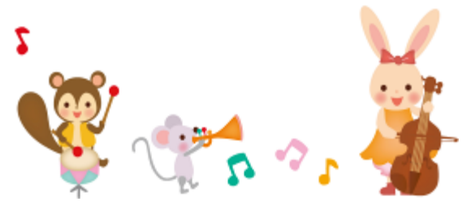
北星会館だより

2022年
令和4年9月発行
140号



住所　〒799-1341　西条市壬生川682
電話･FAX　0898-64-0321
E-mail　hokuseikaikan@saijo-city.jp

【人権相談日】

10月17日(月)　11月21日(月)

13:30～15:00

館職員が対応します。
お気軽にご来館ください。

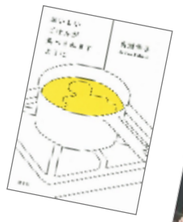
【職業･生活等各種相談日】

10月19日(水)　11月16日(水)

13:30～15:30

近藤相談員が対応します。諸事情で開催日を変更する場合がありますのでお問合せください。

新しい図書のご案内　どうぞ、ご利用ください！



○おいしいごはんが食べられますように（高瀬隼子） 芥川賞受賞作

○熔ける再び（井川意高） そして会社も失った

○「めんどくさい」が消える脳の使い方（菅原洋平） いつの間にか脱ズボラ

○喜ばれる人になりなさい（永松茂久） 感謝の気持ちが湧いてくる

○読むだけで人間力が高まる100話　じわじわ心があたたまる

○差別はたいてい悪意のない人がする（キム･ジヘ） 見えない排除に気づくための10章

○ひまはアスパーガール　発達障害母娘の15年

○三千円の使い方（原田ひ香）「節約」家族小説

○よのなかルールブック（高橋正伸） 人生を生き抜くための50のことば

○イラスト謎解きパズル（荒浪祐太）　　○すこしずるいパズル2

第3回 優･友･楽習会（ゆう･ゆう･がくしゅうかい） 開催　『異文化への理解を深めるために』

8月22日(月)西条市教育委員会外国語指導助手のアンドリュー･タムさんを迎えて楽習会を開催しました。アンドリューさんは、アメリカのニューヨークから来日して4年目、現在は市内の小学校で外国語指導助手をされています。

アメリカの面積は日本の20倍。最近のアメリカ人の好きな食べ物には、みそ汁や枝豆、寿司があります。準備していただいた映像を見ながら、日本とアメリカの文化や生活の違いを説明していただきました。以下はアメリカの様子です。

会社では残業は平均17分で、ほとんどの人が残業はしていません。服装はカジュアルで、上司も客も友人にもみんな同じ言葉遣いで敬語はありません。相手に気を遣わず率直に意見を言います。日本と違って、同じ会社に長く務めることなくスキルアップのために転職する人が一般的です。同僚との飲み会はなく、家族や友人とハウスパーティーで気兼ねなく楽しみます。

学校の夏休みは6月末～9月まで100日ぐらいあり、子どもたちはサマースクールやサマーキャンプに参加します。学校に子どもたちがする掃除の時間はありません。掃除は専門業者が行います。給食の時間は11時から13時30分。校内の食堂で食べ、時間を低･中･高学年の3つに分けて交代で利用します。子どもたちの遊びは言い方は違いますが日本と同じことをしています。例えば、鬼ごっこやけいどろ、テレビゲームなど。

その他に日本と違うところは、バレンタインデーは男性からも女性からもプレゼントを渡します。ホワイトデーはありません。食事の時に『いただきます』は言いません。お風呂はなくシャワーで体を洗います。アルコール類はIDを見せないと購入できませんし、公共の場所での飲酒は禁止されています。日本のような代行運転はありません。

次ページへ続く

私が日本に来た理由は、日本の文化に触れラーメンやたこ焼きが気に入り、高校生の時に日本のアニメやドラマにはまり日本語の勉強を始めたからです。そこで、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に申し込み、日本に来ることができました。日本の第一印象はきれいで、歴史や文化があり、人がとても親切です。「おもてなし」がすばらしいです。日本の中でどこに行くかを決める時に、自分はニューヨークで育ったので、都会より自然豊かなところでゆったりと過ごしたいと思い、西条を選びました。西条は水がおいしく、野菜も新鮮で種類もたくさんあります。石鎚山も2回登りました。私には自然豊かでとてもいい町です。

今の外国語指導助手の仕事が終えたら、翻訳の仕事に就きたいとの思いを爽やかな笑顔で話されました。すでにスキルアップのため、次のステージを考えているようでした。

☆第5回 優・友・楽習会 のご案内

日 時　10月 13日（木）13:30～
演 題　「 人にやさしい街づくり 」
講 師　芝　毅　さん（松山市人権啓発課指導員）

☆第6回 優・友・楽習会 のご案内

日 時　11月 4日（金）13:30～
演 題　「 若々しさを保つ食生活 」
講 師　済生会西条病院管理栄養士　越智　泉　さん

☆教室生の作品及び児童生徒の人権ポスター展示のご案内

教室生の作品　10月13日（木）～18日（火）
児童生徒の人権ポスター等　10月13日（木）～21日（金）
展示時間　9:30～16:30（土日は除く）

昨年度の写真より

第4回 優・友・楽習会 開催 『 コロナに負けるな～頭と体の健康づくり～』

9月5日（月）河原医療大学校作業療法学科長の池之上卓治さんを迎えて開催しました。脳があまり使われないと、脳内に不要なたんぱく質が溜まり認知症になります。予防には、いつもとはちがうことをして頭と体を一緒に使い、いろいろな神経細胞を繋げ、脳を元気にすることが大切です。定期的に脳の掃除を行い、脳を活性化させましょうということで、今回は認知症予防体操『えひめカンカン体操』のDVDを視聴しながら「グー・パー体操」「トントン・スリスリ体操」などを行いました。

体操のポイントは「①無理をしない ②間違えても気にしない ③笑顔で続けましょう ④慣れたらスピードアップしよう ⑤アレンジしよう ⑥定期的に行いましょう 」です。

はじめは簡単ですが、課題が増えるとうまくできなくなりました。できなくて頭が混乱している状態、少しストレスがかかるくらいが脳にいいそうです。インターネットで『えひめカンカン体操』と検索すると家でもできます。みなさんも脳を元気にするために挑戦してみませんか。

吉井小学校・周布小学校 人権・同和教育夏季合同研修会の開催

8月19日（金）2校の合同研修会が行われ、24名の先生方が北星会館に来られました。

館長が北星会館の概要や隣保館の設置目的、館の取り組みの内容について説明し、東予高校の田窪健三先生からは、加茂川に架かるメロディー橋の建設に至る経緯のお話がありました。

その後、田窪先生の案内で、現地研修が行われました。

小松の林田哲雄氏の顕彰碑を見学し、林田氏が水平社運動、農民運動、労働運動に関わり、地域の人々のために尽力したこと。丹原では運動団体、行政・教育関係者、遺族の方々の尽力で墓地移転整備できたこと。お寺の見学で、全国水平社大会へ差別解消のために立ち上がった人たちが、ここから出発していったことを知りました。

現地で実際に話を聞くことで、身近な先人の人権獲得のための努力をより身近に感じることができ、先生方の豊かな人権感覚や人権意識を育む現地研修会となったと思います。